



よし だ とし たか

## 吉田利幸議員が府議会で一般質問

吉田利幸議員（高槻市・三島郡選出）は、3月4日に開かれた2月定例府議会で一般質問に立ち、家庭教育支援の具体的な内容について福井県での視察などの内容を含めながら、松井知事・教育長に問い、国語・歴史教育についての考えを質問しました。



〈吉田 利幸〉  
よしだ としたか

昭和22年9月3日生まれ。同志社大学卒。(社)高槻青年会議所理事長。高槻市議会議員(1期)。大阪府議会議員(7期目)、大阪府監査委員。現在、自民党高槻支部長、大阪府議会教育常任委員。関西広域連合会議長。趣味は読書、美術鑑賞。  
<http://www.seisyun-spirit.com>

## 家庭教育支援法の制定を前に知事の見解は？

**Q. 吉田議員** 児童虐待、引きこもり、親への暴力といった問題等、どの切り口を見ても大阪は全国でワースト上位にある。5月には家庭教育支援法が制定されるが、強い大阪を実現するためにも、家庭教育の支援が最重要課題と考えるが。

**A. 知事** 府としては、親としての姿勢や子供との接し方など親自身が学ぶ場づくりを市町村とともに広げてきた。今後も保護者が責任と自信を持って子育てができるよう、学びの機会と場の充実など家庭教育の支援を行うことが重要である。今後、大阪府施策の柱にする。

## 福井県を見習い、家庭教育支援を強力に進めるべき!

**Q. 吉田議員** 先日視察で訪れた福井県(\*)では、教育振興計画として今後3年間で約120名の子育てサポーターの育成を目標とし、家庭教育講座や家庭教育支援者のネットワーク化など密度濃くやっており、実績も上げている。府の親学習の取り組みはどうか。

(※福井県は日本でも1、2を争う学力。文部科学省が行っている「全国学力・学習状況調査」では、都道府県別ランキングでは常に上位に位置している。)

**A. 教育長** 親学習は平成29年度までに大阪市と堺市の政令指定都市を除く41市町村での実施を考えている。現在、PTAの保護者を中心に親学習のインストラクターとして25市町村で190名の親学習リーダーを配置しているが、新たに100名追加して41市町村での展開を考えている。

**Q. 吉田議員** 家庭教育支援は教育委員会だけに収まらず、福祉部や商工労働部など複数の部局が連携した取り組みが必要。知事も積極的なリーダーシップの発揮を。

**A. 知事** 家庭教育支援に対して、縦割りと言われぬように全庁でしっかりと取り組んでいきたい。

# 家庭教育支援

## 親子の絆に有効な取り組みである“親守詩”

**Q. 吉田議員** 子供たちが親への報恩感謝の思いを和歌、俳句によって表す「親守詩」は親子の絆を深める有効な取り組みである。大阪大会も府の後援のもと実施しており、引き続きの支援を要望する。

**A. 教育長** 「親守詩」は意義のある活動と認識しており、今後も協力していく。

## 国語・歴史教育 重要な国語・歴史教育をどのように進めていくのか。

**Q. 吉田議員** ベストセラーになった「国家の品格」(藤原正彦著)を読むと、「英語についやす時間はない。とにかく国語。一生懸命本を読ませ、日本の歴史や伝統文化を教え込む。」とあり、国語教育の重要さを強く感じる。歴史教育についても日本人としての誇りを教えることが大切だ。名立たる人物の志を学ぶことから、大阪の再生は始まるのではと考える。

**A. 教育長** これからの国語教育はただ読んで聞くだけでなく自分の意見を話したり書いたりも必要。実際に「チャレンジテスト」(\*)でも国語力をつけるような内容の補助教材を作っている。歴史教育は小中学から高校、大学と、年代ごとに日本の歴史教育をしっかりと教えることが大事である。

(※府が導入する公立中学生の学力到達度をはかる独自のテスト)